

## 令和6年度入学式式辞

長崎市立三川中学校 校長 神尾進二

春本番、PTA会長様並びに、町内両小学校長様はじめ、地域団体の代表者様の御臨席を賜り、令和6年度第36回入学式を挙行できますことを、深く感謝申し上げます。

また、保護者の皆様におかれましても、お子様の御入学を心からお祝い申し上げます。本日から、新入生一人ひとりが、充実した中学校生活を送り、巣立ちいく日まで、その教育に精神誠意努力していくことを、ここにお誓い申し上げるとともに、保護者・地域の皆様方に御支援・御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

さて、大きな希望とたくさんの期待を胸に、そして、いくつかの不安を抱きながらの新入生の皆さん、御入学おめでとうございませう。本校の学校教育目標は、皆さんから見て右側にあるように『己を磨く』となっています。今年度は「新たな一面の！」という言葉をつけ加え、さらに、サブテーマの中に「組織の中で」という言葉も加えています。

学校・学年・学級・グループなど様々な組織が考えられます。その中で、自分自身の新たな一面・新たな能力を磨き、力を付ける。容易なようで、かなり難しい課題を皆さん方に課していると思っております。自分勝手に、やりたいことを自分のペースで進める訳にはいきませう。決意を固め、周囲に配慮し、調整しながら、あるいは、周囲と協力しながらの活動になる場合もあるでしょう。この目標達成には、かなりの知恵と工夫と時間が必要になります。

この学校教育目標を支えているのが校訓です。

まずは、「自律」です。

主体性の育成を目指します。規律ある生活を送り、自らが何をすべきかしつかりと考え、活動していきましょう。そこには、それぞれの活動で達成感が生まれ、『自分の役割だ。』という自己有用感が出てくることを期待しています。

次に、「共生」です。

多様性の育成を目指します。多くの人と触れ合い、調整をしながら、目標を達成させていきましょう。そこには、思いやりや調整力が身に付き、『自分の居場所だ。』という安心感につながることを期待しています。

そして、「創造」です。

発達性の育成を目指します。例え、目標を達成したとしても現状に満足することなく、ステップアップを図っていきましょう。そこには、常に努力する姿勢が身に付き、『自分の成長だ。』という向上心を持つようになるでしょう。また、先程説明した「新たな一面の」に直結することを期待しています。

最終的には、皆さん方の将来の夢の第一歩となり、その礎になるものと確信しています。そして、社会に大いに貢献できる人に成長することをせつに願っています。さあ、皆さんそれぞれの夢に向かって、頑張ってください。

友達や先輩、学校の先生たちや保護者、地域の方々とたくさんの人が、あなたを支えています。そのことを決して忘れることなく、

“理想の姿を目標として、その実現のために努力する生徒”になることを願って、式辞とさせていただきます。